

ミニレター

あぜみち通信

* * * * *

平成25年8月1日

152号

編集・発行：愛知県農業会議

愛知県農業会議監査会を開催しました

7月10日に「愛知県白壁庁舎」において、若杉恵監査委員及び尾浦主伸監査委員による、農業会議の平成24年度業務及び会計の状況の監査が行なわれました。

事務局から監査委員に対して、平成24年度の事務局体制、事業報告、歳入歳出決算状況や経費支出等の流れについて説明し、その後、監査委員による決算書、証拠書類、金銭出納簿等の諸帳簿等について監査を実施して頂きました。

常任議員会議（7月）の審議状況について

7月17日に「愛知県白壁庁舎」において、農地法等に係る愛知県知事等からの諮問に対する答申を審議する常任議員会議を開催しました。

会議に先立ち、小林功氏、横山光明氏及び山脇実氏の常任議員の退任並びに久保田浩文氏、初山芳輝氏及び堀元氏の常任議員の就任の報告がありました。

7月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案35件(平成24年7月37件)、11,157㎡(同8,808㎡)、同法5条に基づく転用事案284件(同239件)、209,347㎡(同171,776㎡)及び土地区画整理法第136条の農用地等との関係調整事案1件(同0件)、29,383㎡(同0㎡)をそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

愛知県稲作経営者会議の通常総会が開催されました

7月5日に名古屋市内の「名古屋クラウンホテル」において、愛知県稲作経営者会議の通常総会が行われました。

澤田会長は、あいさつの中で「政府のTPP参加に向けた関係国との協議の動向や社会保障と税の一体改革法案が成立した場合の消費税の段階的増加への対応を検討す

るとともに、地域から求められる担い手として地域の要請に応え、稲作経営に取り組んでいく必要がある。」と挨拶がありました。

その後、来賓として清家東海農政局次長、鈴木愛知県園芸農産課長、水野 J A 愛知中央会担い手対策部長からそれぞれ祝辞がありました。

総会では、平成24年度の事業報告・収支決算、平成25年度の事業計画・収支予算、会費の額・徴収、現金預託先及び役員の選任に係る提出議案は全て承認され、新会長には林茂樹氏(安城市)、新副会長には山中光弘氏(碧南市)、吉兼智徳氏(弥富市)が選出されました。

総会終了後、トヨタ自動車株式会社新事業企画部喜多賢二氏、奥村真也氏とトヨタメディアサービス株式会社グローバルマーケティング部渡辺友介氏、中島雅弘氏から「稲作管理コストの低減活動について」及び愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課渡邊泰之係長から「農機具盗難防止の心構え」と題して講演が行われました。

日本農業技術検定試験が実施されました

農業についての知識・技能の水準を客観的に評価する、平成25年度第1回日本農業技術検定の試験が、7月20日に名古屋市中村区の「ウインク愛知」で行われました。

当日は、3級の検定試験に農の雇用事業研修生33名と一般18名の計51名の皆さんが受験者されました。合否結果の通知は8月23日の予定です。

日本農業技術検定試験の平成24年度の合格率は、1級が19.6%、2級が20.1%、3級が56.6%と農業の知識・技術が要求される検定試験です。

T P P 関係及び農地相続届出の街頭活動を実施しました

愛知県農業会議では、政府の T P P マレーシア会合参加の翌24日の夕方に、名古屋市中区栄交差点周辺で T P P の内容周知と農地を相続した場合の届出制度の P R を進めるため、農業会議職員でチラシ配布の街頭活動を初めて行いました。

この活動は、全国農業会議所の呼びかけにより、政府の T P P 交渉参加が着々と進む中、世論調査では「 T P P 参加への指示は高い割にはその内容の理解度は低い」との結果が出ており、内容がわからないまま賛成という非常に危険な状況や、改正農地法により相続等で農地を取得した際の農業委員会への届出が義務化され、耕作放棄地の発生防止の観点からも周知が必要と判断し、全国一斉の街頭活動として企画されたものです。

街頭活動は、「知っていますか？ T P P の恐ろしさ！」、「農地を相続したら届出が必要です！」、「農地のことなら農業委員会へ相談を」のチラシを一般市民に一人

ひとり声をかけながら、約1時間で300枚のチラシを配布しました。

全国農業新聞総局担当者会議が開催されました

7月29日に名古屋市中村区の「ホテルリソル名古屋」において、平成25年度上期全国農業新聞総局担当者会議が開催されました。

最初に、全国農業会議所の伊藤情報事業本部長から開会の挨拶があり、その後、愛知県農業会議の板倉事務局長より歓迎挨拶を行いました。

会議では、「平成25年度下期の普及対策」、「全国農業新聞で結ぶ信頼の絆・3ヵ年運動」、「平成25年度全国農業新聞編集整理の重点」及び「全国農業新聞のあり方等」について説明がありました。

その中で、全国農業会議所から「購読部数の減少に歯止めがかからず収支分岐点の12万部を切り危険水域になってきた。安定継続発行に向けたコスト削減や効率化を図っているが限界があり、紙面等の抜本の見直しが必要である。」と紙面の見直し等について、意見交換が行われました。

全国稲作経営者現地研究会in青森が開催されました

7月11日～12日の2日間、青森県平川市の「南田温泉ホテルアップルランド」において、全国から稲作経営者始め約330名の方々の出席で「第38回全国稲作経営者現地研究会in青森」が開催されました。

1日目の会議は、佐藤正志全国稲作経営者会議会長の挨拶後、青森県農業経営者協会稲作部会設立40周年記念感謝状授与及び東北管内稲作経営者会議功労賞等表彰があり、表彰後、三村申吾青森県知事と佐々木康雄東北農政局長の来賓挨拶がありました。

来賓挨拶後、映画「奇跡のリンゴ」のモデルとなった株式会社木村興農社代表の木村秋則氏による「現場の自然栽培に学ぶ」の特別記念講演及び株式会社米穀新聞社記者の熊野孝文氏による「昨今のコメを巡る情勢について」の基調講演が行われ、その後、「被災地と稲作生産者の現状について」福島県稲作経営者会議から報告がありました。

最後に、国土保全・環境維持の役割に対するの交付金の創設などの提言について説明があり、提言方針については了承し、今後さらに検討を進めることとして全体会を終了しました。

2日目は、青森県青森市の農業生産法人羽白開発を始め3地域の水田農業の現地研修会が行われました。

今後の主な行事予定

- 8月 7日 農業会議賛助団体会議（白壁庁舎）
- 8月16日 農業会議支部長会議（白壁庁舎）
- 8月16日 常任会議員会議（白壁庁舎）
- 8月16日 情報事業重点普及農業委員会会長・担当国会議（白壁庁舎）
- 8月27日 愛知県農業会議平成25年度第1回総会（県水産会館）
- 9月 4日 農業委員会委員・職員等研修会 尾張会場（稲沢市市民会館）
- 9月10日 農業委員会委員・職員等研修会 西三河会場（知立市文化会館）
- 9月13日 農業委員会委員・職員等研修会 東三河会場（豊川市勤労福祉会館）